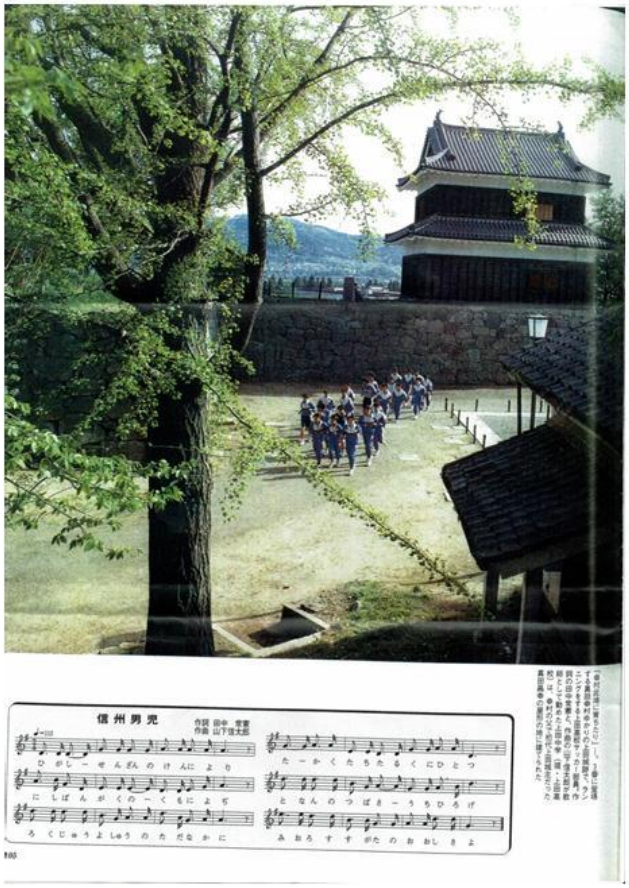
東京立命会と信州男児の歌

上田中学の時代から、小諸から上田へ汽車通学していた「通学団・立命会」のことは以前書いた。先日、麹町の中華料理屋で第３回の「東京立命会」があり、私は最若手として出席した。会の最後に「若手として一本締めをお願いします」と幹事の先輩に言われた。私の前は、校歌、応援歌、凱歌、寮歌の大合唱。それぞれの先輩の演説も長い。

ポンと手を打つだけで終わるのは面白くないと思ったので、例の「信州男児」の歌を 2 番まで張り上げた。

そうしたら何ということだ。甲子園初出場で古豪・平安を抑え込んだ“伝説の投手”神津進さん（56 期）が寄ってきて、「雲成す大群打ち掃い、難波の華と散りにける、幸村此地に育ちたり」と唱和してきた。

さらに昨日、「上田中学から全県に『信州男児』」という資料（添付）とともに、カセットテープを送っていただいた。

これでは足腰が立たなくなるまで、東京立命会を欠席することはできないなと思った。

（9 組　丸山隆平）